

例会プログラム

第1796回例会 2019年1月15日(火) 場所:うもれぎ亭

点鐘 会長 中村文隆
ロータリーソング 『我等の生業』
ゲスト並びにビジター紹介
会長挨拶並びに報告
幹事報告
委員会報告
出席報告・ニコニコBOX報告
1月度誕生日祝い
本日のプログラム
会員卓話『ロータリーの歴史』 東 文晴会員

【1月度誕生日】

- ◇中村 文隆さん (誕生日・1月1日)
- ◇藤井 和博さん (誕生日・1月3日)
- ◇東 文晴さん (誕生日・1月8日)
- ◇金井 武史さん (誕生日・1月31日)



出席報告

会員数	31名
本日の出席者	17名
メイクアップ済	1名
本日の出席率	69.23%
12/25修正出席率	93.33%

【本日のプログラム】

会員卓話『ロータリーの歴史』 東 文晴 職業奉仕委員長



ロータリーの始まりは1905年2月23日(木)、アメリカのシカゴで弁護士ポール・ハリス、石炭商シルベスター・シール、鉱山技師ガスターバス・ロア、洋服生地商ハイラム・ショーレーの4名によりクラブ設立の会合が開かれたことからでした。「一人一業種で親睦を深める会を作る」という主旨でした。そして2回、3回と会合が開かれ主旨、例会の会員事務所の持ち回り、役員が決まり4回目の会合にてロータリークラブという会の名称が決まり、会員身分や役職も1年限りでローテーションすることが決められました。RI理事会ではこの1905年2月23日の最初の会合をロータリー創立の日と定めています。

5回目の会合では車輪のエンブレムが採用され、数回改正され1926年に現在の歯車のエンブレムになりました。

発足した当初は、奉仕の概念は芽生えておらず、定款は[親睦の充実]と[職業上の利益の向上]が謳われていました。会員同士の相互扶助が活性化され、やがてそれは積極的な[互惠取引]に発展しました。

1906年4月ドナルド・カーターをクラブの入会を薦めたことにより、「まったく利己的な組織は持続性がない。発展することを望むならば、我々の存在を正当化するために何ごとかをしなければならぬ。我々は市民に対する奉仕をしなければならない。…」と初めて、原始ロータリーに奉仕という概念が芽生え、1907年の定款に奉仕が導入されました。

その後、ロータリーの奉仕の概念はポール・ハリス、アーサー・フレデリック・シェルドンらを中心に全米、世界へ活動を広げながら職業倫理の高揚、道徳律の制定、国際奉仕と決議され、1939年ハーバート・テラーが「4つのテスト」を発表するまでに至りました。1954-55年に国際ロータリーの会長を務めたときにこの版權をRIに寄付し、今日に至っています。

幹事報告

- ◆配布物
次回例会出欠票、理事会議事録
ガバナ一月信1月号
- ◆回覧物
年賀状、囲碁大会のご案内、
1792・1793・1794回例会週報

1月 RIレート
\$1=112円



ニコニコBOX

- ◆ 中村会長 東さん、卓話よろしくお願ひします。
- ◆ 小谷幹事 おもしろい卓話楽しみにしています。
- ◆ 東会員 誕生日祝いをいただきました。妻の誕生日祝いをいただきました。
- ◆ 藤井会員 誕生日祝いをいただきました。
- ◆ 石井会員 東さん、本日卓話ががんばってください。最低5回は笑いをとってください。
- ◆ 金井会員 誕生日祝いをいただきました。
- ◆ 山口会員 東さんの卓話のために例会に来ました。
- ◆ 山本会員 妻の誕生日祝いをいただきました。